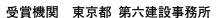
# ③特定整備路線 東京都市計画道路補助第136号線(関原・梅田) 整備事業



## キーワード 木造住宅密集地域、延焼遮断帯の形成、 市街地の防災性向上

## 全建賞審査委員会の評価ポイント

木造住宅密集地域の特定整備路線の整備。木密地域不燃化 10年プロジェクトの取組みは、市街地における震災時の甚大 な被害に対し、大規模な市街地火災防止や安全な避難路確保 等に効果が期待できる点や、事業実施において用地交渉の困 難性を鑑み、関係権利者の生活再建サポート体制の充実など、 新たな特別支援策を設けた取組である点が評価された。

#### 1. はじめに

東京都では、木造住宅密集地域の中で、震災時に特に 甚大な被害が想定される整備地域(約6.500ha)を対象 に、延焼遮断帯の形成(特定整備路線の整備)や市街地 の不燃化促進(不燃化特区)などの取組を重点的・集中 的に実施し、「燃え広がらない・燃えないまち」の実現 に取り組んでいる。

特定整備路線は、市街地の延焼を遮断するなど、整備 地域の防災性の向上を図る都施行の都市計画道路であり、 28区間・約25kmで整備を推進している。

# 2. 事業の概要

東京都市計画道路補助第136号線は、足立区扇一丁目 から葛飾区新宿二丁目に至る延長8.1kmの都市計画道路 である。このうち関原・梅田地区(約1.1km)は、平成 24年に公表された「木密地域不燃化10年プロジェクト」 実施方針における特定整備路線に指定し、事業を加速し てきた。

用地取得では、関係権利者の高齢化や権利関係の複雑 さなど木密地域ならではの課題があったが、権利関係者 の生活再建に向けたサポート体制の充実など、新たな支 援策を設ける工夫を行った。

工事実施では、地元町会、交通管理者、関係企業者等 と綿密な調整を図るとともに、用地取得の進捗に合わせ て街路築造工事を順次実施し、令和3年3月29日に都 内の特定整備路線として初めての交通開放を実現した。

### 3. 事業の成果

補助第136号線(関原・梅田)の開通により、関原・ 梅田地区における市街地の延焼を防止するとともに、緊 急車両の通行路や災害時の避難路として、地域の防災性 の向上に大きく貢献している。また、当該地域の東西交 通の円滑化を図ることもできた。

さらに、初の交通開放路線として事業効果を視覚的に 「見せる」ことで、他路線の事業推進にも寄与していく ものと考えられる。



交通開放区間の状況

# 4. おわりに

本事業により、都内の特定整備路線として初めての交 通開放を実現するとともに、地域の防災性の向上や交通 の円滑化など、大きなストック効果を発現している。

今後とも地元の理解と協力を得ながら、残る特定整備 路線の整備に全力で取り組んでいく。

本事業が、市街地の防災性向上の一助となれば幸いで ある。



関原工区上空から東側を望む

43